

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年6月24日(2022.6.24)

【公開番号】特開2020-151164(P2020-151164A)

【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-039

【出願番号】特願2019-52153(P2019-52153)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月16日(2022.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、

前記表示手段を用いて演出識別情報を可変表示する可変表示演出手段と、

前記表示手段を用いて段階的な表示様の変化により、前記有利状態に制御される期待度を示唆可能な示唆表示を表示する示唆表示演出手段と、を備え、

前記示唆表示演出手段は、前記示唆表示を一旦視認困難とした後に再度視認可能とすることが可能であり、前記示唆表示を再度視認可能とするときに、一旦視認困難とする前よりも前記有利状態に制御される期待度が高い段階に変化した前記示唆表示を表示することが可能であり、

前記可変表示演出手段は、前記示唆表示が一旦視認困難とされた状態において、前記演出識別情報を継続して可変表示し、

前記示唆表示を一旦視認困難とするタイミングは複数ある、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

40

(A) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
表示手段と、

前記表示手段を用いて演出識別情報を可変表示する可変表示演出手段と、

前記表示手段を用いて段階的な表示様の変化により、前記有利状態に制御される期待度を示唆可能な示唆表示を表示する示唆表示演出手段と、を備え、

前記示唆表示演出手段は、前記示唆表示を一旦視認困難とした後に再度視認可能とすることが可能であり、前記示唆表示を再度視認可能とするときに、一旦視認困難とする前よりも前記有利状態に制御される期待度が高い段階に変化した前記示唆表示を表示することが可能であり、

50

前記可変表示演出手段は、前記示唆表示が一旦視認困難とされた状態において、前記演出識別情報を継続して可変表示し、

前記示唆表示を一旦視認困難とするタイミングは複数ある。

(1) 遊技者にとって有利な有利状態(大当たり遊技状態等)に制御可能な遊技機(パチンコ遊技機1等)であって、

段階的な表示様式(数値表示およびレベル表示等の段階的な表示様式)の変化により、前記有利状態に制御される期待度を示唆可能な示唆表示(図8-4等の示唆表示111F001等)を表示する示唆表示手段を備え、

前記示唆表示手段は、前記示唆表示を一旦消去した(図8-4(J)等)後に再度表示する(図8-4(N)等)ことが可能であり、前記示唆表示を再度表示するときに、一旦消去する前(図8-4(I)のような80%等)よりも前記有利状態に制御される期待度が高い段階に変化した前記示唆表示(図8-4(N)のような100%等)を表示することが可能であり(図8-4(N)のような100%等)、

さらに、

設定変更操作(例えば、設定値を変更するための操作であり、設定切替スイッチ61AK002などへの操作)に基づいて、遊技者にとって有利度が異なる複数種類の設定値(例えば、「1」~「6」)のうちのいずれかの設定値を設定可能な設定手段(例えば、主基板11)と、

前記設定値の設定に関連した示唆演出(例えば、設定示唆演出)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば、演出制御基板12)と、

可変表示に関連した特定演出(例えば、セリフ予告)を実行可能な特定演出実行手段(例えば、演出制御基板12)と、を備え、

前記示唆演出と前記特定演出とは、同一期間中に実行可能であり(例えば、セリフ予告の実行中に設定示唆演出を実行可能)、

前記特定演出実行手段は、前記示唆演出と前記特定演出とが同一期間中に実行される場合、前記特定演出を前記示唆演出が実行されないときは異なる様で実行可能である(例えば、セリフ予告の画像に重ねてモヤ画像を表示したり、セリフ予告をフリーズさせたりする)。

10

20

30

40

50